

麻生区

川崎市黒川青少年野外活動センター

小田急多摩線「黒川駅」南口から 徒歩約3分



▲施設外観



右左：室内でカブトムシの幼虫採集
右下：カブトムシの幼虫採集

昨年人気だったのは、スタッフの大谷さんが企画した『春からカブトムシ博士』。黒川の森には、フカフカな腐葉土の中にカブトムシの幼虫がたくさん生息しています。オスとメス一対を採集して持ち帰り、さなぎ、成虫へと育てることで、里山の暮らしと生命の連鎖を学ぶプログラムです。今年度の実施は見送りましたが、

来年は実施を考えているそうです。

プログラムの種類の豊富さに驚いていると、「コロナ前は多人数で催行する定番プログラムがありました。コロナ禍で制限がある中、どうしたら楽しめるだろうか…とスタッフで話し合い、新しいプログラムがいくつも生まれました」と、スタッフの片岡小百合さん。ぜひセンターのホームページで、そのほかのプログラムや内容についてもご覧ください。

近くて便利な野外活動センター

川崎市黒川青少年野外活動センター(以下「センター」)の歴史は、1983(昭和58)年、栗木台小学校開校にともなって廃校になった旧柿生小学校黒川分校を、黒川青少年野外活動センターと名称を改めて開放したところから始まっています。自然の中でさまざまな野外活動を通して自主性や協調性を育み、青少年の豊かな心と体を育てることを目的とした施設です。1991(平成3)年に現在の建物が完成し、現在まで多くの方々に利用され、親しまれています。

駅から歩いて3分、近くにコンビニエンスストア有りという抜群の利便性を誇るこちらの施設は、所長の野口透さんいわく、「本格的なキャンプに出掛ける前の予行練習にピッタリ!」。都会のすぐ近くながら、見渡す限り緑



▲野外炊飯

の中に身を置くことができますし、火を扱うことが可能なため、野外炊飯、バーベキュー、手持ち花火などが楽しめます。施設利用料は無料ですが、利用には事前の利用申し込みが必要です。

センターのプログラムは種類が豊富

センターではさまざまな体験ができます。団体でプログラムに申し込んで仲間と一緒に体験するもよし、センター主催のイベントに参加して新しい仲間と一緒に体験するもよし。黒川の清らかな空気の中、心と体を解放して非日常を楽しめます。



学校単位で申し込みが多いのは『くろかわドラム缶ピザ焼き体験』。生地をこねたり、火をおこしたり、仲間と力を合わせて美味しいピザを作ります。

▲大きなお口でパクリ。一緒に作ったピザはおいしいね♪

■川崎市黒川青少年野外活動センター

〒215-0035 麻生区黒川 313-9

電話 044-986-2511 FAX 044-986-2522



ホームページ



Instagram



フェイスブック



note(ブログ)

年末年始・休所日(月1回程度)はお休みです。施設利用料は無料ですが、参加するプログラムによって料金が変わります。

※利用案内、イベント、体験プログラムについての詳細はセンターのホームページをご覧ください。